

続発する災害の

根本原因は何か

黙祷で「まかす会社」

監視しよう、現場職制の姿勢

三川指導部 田口芳博 一手記

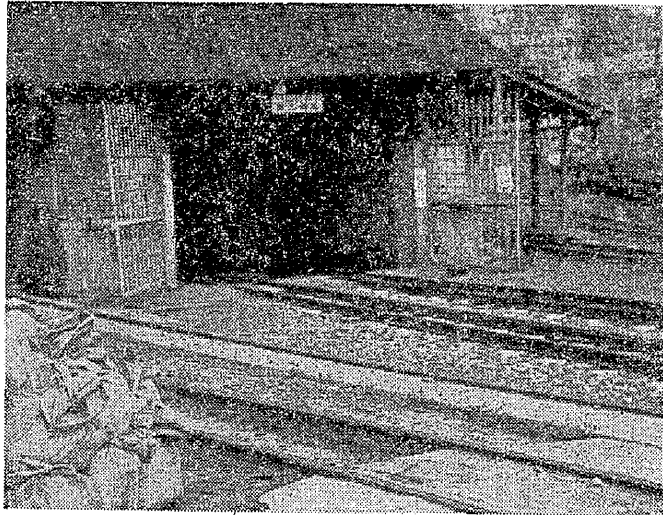
そのたび黙祷

朝、繰り込み場において死亡災害の報告がおこなわれることに、全員黙祷をする。

そして職制から形ばかりの保安事項上の注意がされ、終りに山の神様に向かって深々と一礼。三井鉱山が、坑内保安の問題に対する見せかけの姿勢を示す朝のひとコマである。

私たちはこのような黙祷を、今年になっても五回も実施した。そのたびに「またか」と思い、会社に対する怒りがこめあがってくる。

「何人労働者を殺せばいいんだ。俺の職場から、災害をだしてたまるか。せつないださな、起こさなさい。そのために、日常の保安闘争を強化しなければ……」



三川鉱の坑口(人車坑道)。降りてゆく地底に、はたしてどんなことが待っているか？

現場の実態は

でも、今日の現場の作業実態はどうか。

ほとんどが請負制度のために作業量が増大するばかり。それに反して、幾らの賃金にもならない単価制度のため、労働強化となる。おまけに残業が強制され、休日出勤で持ちこたされ、しぜんに保安上の施策は手ぬぎになっていく。これらのことが、災害と密接な関係にあることは明らかである。

現場の職制は、生産優先だ。そのことだけに血まなこになっていく。そのため保安確保の問題に対する認識は薄れ、保安責任者である者自ら規則・規定の違反をくり返している。こんな職制の姿勢を変えなければ、災害がなくなるはずがない。

未然の活動を

災害の多くは、落盤、運搬、ダインマイト、器材取り扱いなどに起因している。

- 一、点検の徹底な実施。
- 二、運搬操作時における規則・規定の完全実施。
- 三、ハッパ前後のガス検定、おまかせ警戒の完全実施。
- 四、危険箇所の早急な改善。

新労組仲間と

同時に、同じ環境のなかで働く三池新労組の組合員仲間に対しては、具体的な内容と請求のしかたについては紙数の関係で省略する。くわしくは、組合本部の労働担当部に問い合わせをお願いしたい。

石炭年金制度を改善

炭労の努力ついに実る

後労働者間で積み重ねてきた交渉で、この年金の基本をなす坑内員と炭労の努力が実り、大幅な「石炭年金」の改善を遂げることができた。このほど炭労は、炭労新関の号外を発行して「新しくなった年金制度」の内容をくわしく伝えた。

石炭年金が、企業を退職した炭労労働者の老後の生活をささえる一つとして頼られていたことは述べるまでもないが、昨年の春闘以来、このやり方に、大分県労評新関(三月十五日発行)は、「これではまさに雇用が賃金かではなく、雇用も賃金も労働条件も抑えこむという三つの攻撃」といっているが、組合は「一方的な合理化提案を白紙撤回せよ」と要求、再建闘争に立ちあがっている。

退職者のひとこと

このほど次の人びとが定年のため、三池労組を去られました。長年三池の闘いをささえ、活動していただいたことを心から感謝するとともに、今後は健康にいつそうご留意いただき、いつまでも活動くださいと祈りをこめてお送りいたします。

遠山芳男さん

定年の日 五月十一日。
お住まい 大牟田市新勝立町五丁目六。

上島茂次さん

定年の日 五月二十四日。
お住まい 荒尾市川登四八五。

本所指導部関係

山本博貴さん
定年の日 四月三日。
お住まい 大牟田市小浜町四四。

堀田昇さん

定年の日 五月十一日。

三川指導部関係

湯村誠男さん
定年の日 四月二十四日。
お住まい 大牟田市天道町。

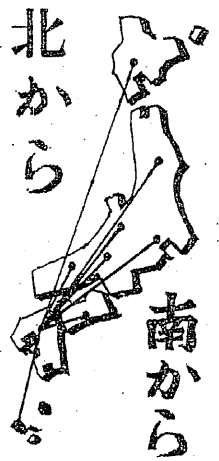
三浦正行さん

定年の日 五月十一日。



堀田さん

今後いかにあっても、三池の闘いの火が拡大するよう微力尽してゆきたいと思っております。本当にながいあいがあがとうございまして。皆さん方のご健闘を祈念して挨拶とします」



北から

南から

労働者が奮闘をすすめているなかでも、首切りや工場閉鎖、それに賃金切り下げさへむくむくといひ合理化攻撃が相次いでいる。地域社会に波及する影響も大きく、深刻さが加わっているが、それは大分県でも例外ではなく労働者は其の旗のもとに結集、反合理化闘争に立ちあがっている。

首切り反対の全造船佐伯

系列。組織は同盟は、その佐伯造船所(全造船佐伯分會。松本学委員長。組合員六百九十六人。大分県佐伯市鶴谷(無着地)について、次の計画で合理化をやること

四月二十七日、日軒鉄工所(矢野雄雄社長。石川島播磨重工業の

西日本電線も

別項の全造船佐伯分會とともに

首切り合理化に反対して立ちあがった組合に、西日本電線労組(栗原委員長。組合員五百八十六人。大分市駄の原二八九九)があ

る。三月一日会社は組合に対して、

次のように、従業員約二割にも

及ぶ首切り合理化案をつきつけて

きた。

(一) 従業員の百八十人を整理。現行協約を破棄して、土曜

日曜の休日の連続作業。

(二) 今年の賃上げを見送る。